

後期学校評価のまとめ

1月末に学校評価のアンケートをお願い致しました。ご協力いただき、ありがとうございました。7月の前期学校評価と今回の学校評価を比較することによって、高雄中学校の平成26年度の教育活動の振り返り・見直しを図り、来年度の教育活動の課題と目標を明らかにしました。前期と同様、保護者・生徒・教職員の三者のアンケートを取りましたが、紙面の都合上、保護者アンケートの生徒アンケートの結果を示します。

学習面が前期と比べると、ニーズ度はまだ高い数値ではありますが、値は下がりつつあり、ある一定の成果が出てきていると言えます。全国学力学習状況調査や学習確認プログラム等の結果を見ていると、1年生はまだまだ成果が表れていません。そこでⅢ期から1年生には週末学習の取組を進めています。家庭学習については、生徒たちは週末学習などの取組を通して、前期よりも家庭で学習することが多くなったと感じているようです。けれども保護者の皆さまからはまだまだ不充分であると見られていることがわかりました。来年度は各学年でいっそうの取組を継続・充実していく必要があると考えています。また、気になることのひとつは、保護者・生徒ともに、「学校は親身になって相談に応じてくれる」の質問項目でニーズ度が上昇しており、教職員として、これまでの取組について振り返る必要があると考えています。生活面で目立つ点は、保護者・生徒・教職員のどのアンケートでも、正しい言葉遣いがあまりできていないという結果になっており、これから意識的に指導していく必要性を感じています。また、生徒たちは、自分が努力したこと・頑張ったことを、保護者や教職員等の大人から認められることを期待しています。認められればもっと努力して成長しようという気持ちになれます。保護者・地域の皆様のご協力を得て、「ほめて伸ばす」を実践していきたいと考えています。